

平成30年度授業改善推進プラン

東村山市立東萩山小学校 第1学年

教科等	評価の観点	児童に身に付けさせたい力(児童の実態から)	授業改善のための具体的な方策
国語	関心・意欲・態度	自分から進んで本に親しもうとする。 進んで話したり聞いたり書いたりする。	図書の時間、朝学習の時間を積極的に活用する。日直のスピーチの時間を作り、楽しく話したり、聞いたりできる機会を設ける。
	話す・聞く能力	伝えあうための必要な事柄を選び、順序を考えて話す。大事な事柄を落とさないように集中して聞き、感想をもつ。	スピーチや授業の中で、話型や声の大きさ、最後まで話したり、聞いたりすることを重点的に指導する。
	書く能力	伝えたいことを明確にして、順序にそって簡単な構成を考えて書く。	日記を書かせることで、思ったことを書く活動を取り入れる。書くことの楽しさに触れさせる。
	読む能力	事柄の順序や場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉える。	宿題の音読により正しく読む力をつける。内容を伝え合ったり、演じたりする活動を取り入れる。
	言語についての知識・理解・技能	文字の使い方などについて正しく理解する。文字の形を捉え、丁寧に書く。	機会を捉え、長音・促音・拗音を正しく使えるよう、練習させる。良い姿勢、正しい鉛筆の持ち方を習慣化する。
算数	関心・意欲・態度	数量や図形に親しみ、算数でまなんだ良さや楽しさを感じる。	具体物を活用したり、「やりたい」「知りたい」と思える導入を設定したりする。
	数学的な考え方	数量や図形などの特徴などについて、具体物や図などを用いて、考える。	具体物やブロック操作、図などで、自分の考えを表す活動を行う。基本的な操作の方法や図の表し方を身に付けさせる。
	数量や図形についての技能	整数の計算をしたり、身の回りにある量の大きさを比較したり、図形を構成したり、数量の関係を表したり、読み取ったりする。	朝学習の活用や、計算検定により計算力向上をはかる。計算などは、習熟のための個別指導をする。
	知識・理解	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方及び整数の計算の意味を理解する。	具体物やブロック操作、図などを用いた算数的活動を通して理解を深める。
生活	関心・意欲・態度	自分と身近な人々・植物などのかかわりに関心を持ち、自然を大切にしたり自分たちの遊びや生活を工夫したりしようとする。	児童の思いや東萩山小の環境を活かした教材を通し、意欲的に活動できるようにする。
	生活や体験についての思考・表現	身の周りの人や自然について、自分なりに考えて活動を工夫したり、表現したりする。	めあてをもたせて活動させる。カード等を用いて活動の振り返りをする。
	身近な環境や自分についての気付き	身近な人々、社会及び自然とのかかわりを深めることを通して、自分のよさや可能性に気付く。	体験学習(昔遊び、保育園との関わり、制作活動など)を通し、気付いたことを絵や文でまとめ、発表させる。
音楽	関心・意欲・態度	楽しく音楽にかかわり、音や音楽に対する興味・関心をもち、音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	季節の歌や昔からある歌など、なじみのある歌を多く取り入れ、音楽の学習を楽しめるようにする。
	音楽表現の創意・工夫	音色、リズム、旋律、速さ、強弱などを感じながら、音楽表現を工夫する。	身近な手遊び、リズム遊びなどの身体を使っての表現活動を多く取り入れ、自然に表現の幅が広がるようにする。
	音楽表現の技能	音楽表現をするための基礎的な技能を身に付け、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりする。	歌詞や曲の気分に合わせて、歌声や音色に気を付けられるようにする。階名唱を積極的に取り入れ音程感覚を養う。

平成30年度授業改善推進プラン

東村山市立東萩山小学校 第 1 学年

教科等	評価の観点	児童に身に付けさせたい力(児童の実態から)	授業改善のための具体的な方策
	鑑賞の能力	音色、リズム、旋律、速さ、強弱などを聴き取り、よさや面白さなどをを感じながら、楽曲や演奏の楽しさに気付き、味わって聴く。	よさや、面白さを感じ取りやすく、親しみやす楽曲、いろいろな演奏形態の楽曲を示す。
図画工作	関心・意欲・態度	楽しくのびのびと表現しようとする。	楽しんで取り組めるような題材の工夫をし、最後まで意欲的に取り組めるよう言葉かけを工夫する。
	発想や構想の能力	感じたことや思いついたことを、のびのびと表現する。	のびのびと表現できるような題材を提案し、説明をわかりやすくしたり具体物を提示したりしながら助言する。
	創造的な技能	材料、道具、用具等の正しい使い方を覚え、工夫して作品に表す。	材料、道具、用具等の使い方を実演しながら指導し、子供が、表わしたいことを自由に表現できるように、工夫して説明する。
	鑑賞の能力	お互いの作品の面白さに気付いたり、楽しさを感じたりする。	お互いの作品を見合う時間を確保し、よさを伝え合う機会を多く設定する。
体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	各種の運動遊びの楽しさに触れ、仲良く、意欲的に運動しようとする。	グループでの活動を多く取り入れる。分かりやすいゲームやルールの運動を行う。
	運動や健康・安全についての思考・判断	運動の仕方を工夫している。	運動の仕方を工夫できるような活動を行う。話し合う場面を設け、話し合いの具体的な視点を伝える。
	運動の技能	行い方を知り、基本的な動きを身に付ける。	固定遊具での遊び方を体育、休み時間等に指導する。運動の特性を十分に味わわせる。

平成30年度授業改善推進プラン

東村山市立 東萩山小学校 第2学年

教科等	評価の観点	児童に身に付けさせたい力(児童の実態から)	授業改善のための具体的な方策
国語	関心・意欲・態度	本に親しみ、進んで読書する。文を書くことを楽しむ。進んで友達と話し合ったり、考えを聞いたりしようとする。	毎日の家庭学習に一言日記を課題とし、文を楽しみながら書く習慣を身に付けさせる。話し合ったり、考えをまとめたりする機会を設定していく。
	話す・聞く能力	主語、述語をはっきりさせ、順序よく話す。聞き、質問や自分の考え、意見を言うことができる。	話型を使い、話し方に慣れさせる。話を聞く姿勢に気を付けさせる。ハンドサインを活用し、自分の考えと相手の考えを比べながら聞くようにさせる。朝の会などでスピーチの場を作る。
	書く能力	自分の気持ちや出来事の様子がわかるように順序良く文章を書く。	「はじめ」「中」「終わり」の構成に気を付けさせる。順序を表す言葉を的確に使えるようにする。
	読む能力	書かれている事柄の順序や場面の様子、登場人物の心情を読み取る。正しく読むための語彙力。	音読を毎日行う。いろいろな音読の仕方を取り入れる。挿絵を利用しながら、登場人物の気持ちを想像して書かせる。正しい読み取りのために、指示語や理由を表す言葉などを見つけさせる。
	言語についての知識・理解・技能	ひらがな、カタカナ、漢字を正しく丁寧に書く。「は」、「を」、「へ」、「っ」などを文の中で正しく使う。	朝学習、宿題等で、新出漢字の習熟を図る。書いた文章を読み直し、推敲させる。書写の時間を確保し、丁寧に正しく書く習慣を身に付けさせる。
算数	関心・意欲・態度	数量や図形に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。	問題の等分、対向構成、異体物の出し方などを工夫する。習熟度クラスで、どの子も活躍できるようにする。本時のめあてをはっきりさせ、学習の意欲を高める。
	数学的な考え方	自分の考えを式、図などを用いて表すことができる。相手に分かるように伝える。	どのような方法で解決したか、図、式、文章などで分かりやすく説明させる。テープ図や数直線などの理解を深め、考えるための道具を多く身に付けさせる。
	数量や図形についての技能	1・2年生で習った加法、減法、また乗法の計算が確実にできるようにする。時、分、cm、mmやLなど既習の単位を生活場面で活用する。	朝学習、宿題等で、習熟させる。九九や足し算カードを用いて検定を行う。生活の中で習熟できる機会を多く作る。
	知識・理解	数の多様な見方ができ、十進位取り記数法などの数のしくみが分かる。時計、長さの表し方がわかり生活の中で活かしたり、量感覚をもったりする。	実物を使用し理解させる。朝学習、家庭学習、個別指導などで折に触れて復習させる。日常的に算数的な活動を積極的に取り入れる。
生活	関心・意欲・態度	自分と身近な人々・動物や植物などのかかわりに関心を持ち、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりしようとする。	活動に意欲を持たせるように、導入に工夫をする。植物やいきものの観察・世話の機会をこまめにとる。直接的に関わる機会を多く設ける。
	生活や体験についての思考・表現	活動を通して気付いたことや楽しかったことなどについて、言葉、絵により表現し、考えることができる。	体験したことや観察したことの視点をはっきりさせて、カードに書かせる。絵や文で表したものをもとに、みんなに伝えるように発表させる。
	身近な環境や自分についての気付き	身近な人々、社会及び自然とのかかわりを深めることを通して、自分と環境、自分の良さに気付くことができる。	観察の視点をはっきり示し、五感を使って見たこと、感じたことを表し、数量を意識させ正確に観察させるようにする。
音楽	関心・意欲・態度	楽しく音楽にかかわり、音や音楽に対する興味・関心をもつ。音楽表現や鑑賞の学習に意欲的に取り組もうとする。	季節に合う歌や昔からある歌、身近な内容の歌などいろいろな歌を取り入れる。遊びや身体表現の要素を取り入れ、歌や演奏の楽しさを感じさせる。
	音楽表現の創意・工夫	音楽を形づくっている要素を聴き取り、よさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫する。	音遊びやリズム遊びなど身体を使つての表現活動を多く取り入れる。グループ活動などを取り入れ、児童の自然な表現を受け止め、その良さを伸ばしていく。
	音楽表現の技能	音楽表現をするための基礎的な技能を身に付け、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりする。	正確なリズム、音程をつかませる。鍵盤ハーモニカでは、正しい指使いの技能を習得させる。階名唱を意識的に取り入れ音程感覚を伸ばす。
	鑑賞の能力	楽曲の気分を感じ取って聴く。音楽を形づくっている要素のかかわりあいを感じ取って聴く。楽曲や演奏の楽しさに気付く。	鑑賞した際には、楽曲を聴いて感じ取ったことを、体や絵、言葉、文で自由に表現させる。表現に必要な言葉を教える。

平成30年度授業改善推進プラン

東村山市立 東萩山小学校 第2学年

教科等	評価の観点	児童に身に付けさせたい力(児童の実態から)	授業改善のための具体的な方策
図工	関心・意欲・態度	表したいこと作りたいものを自分の表現方法で表そうとする。	楽しんで取り組めるような題材の工夫をし、自分の表現をみつけられるように言葉かけをする。
	発想や構想の能力	感じたことや思いついたことを、のびのびと表現する。	楽しくのびのびと表現できるような題材を計画し、説明を、わかりやすく提示したり具体物で示したりする。
	創造的な技能	材料や用具の正しい使い方を覚え、材料や用具を工夫して表す。	材料、道具、用具等の使い方を実演しながら指導し、子供が表わしたいことを自由に表現できるように、多様な使用法を説明する。
	鑑賞の能力	友達の作品に関心を持ち、工夫したところ、良いところを認め合う。	お互いの作品を楽しく見合う時間を確保し、良さを伝え合う機会を多く設定する。
体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	運動に進んで取り組み、きまりを守り仲良く運動する。運動の楽しさを味わう。場の安全に気を付ける。	運動の特性を味わえるような場づくりをする。だれとでも仲良く運動できるようにグループづくりを工夫する。
	運動や健康・安全についての思考・判断	簡単な運動の行い方や遊び方を工夫しようとする。	児童がルールを工夫しやすい運動やゲームを取り入れる。簡単なルールや動きを工夫できるように話し合いや振り返りの活動を行う。
	運動の技能	運動やゲームを楽しく行うために必要な技能を身に付ける。	学習カードなどを使い身に付ける技能を明確にする。単元を通して補助運動を行う。新体力テストの結果を生かし、年間を通して弱い部分を強化する運動を意識的に取り入れる。

東村山市立東萩山小学校 第3学年

教科等	評価の観点	児童に身に付けさせたい力(児童の実態から)	授業改善のための具体的な方策
国語	関心・意欲・態度	国語に関する関心をもち、幅広く読書しようとする。	週1回、図書室で読書や読み聞かせを行い、読書指導を充実する。友達にお勧めの本を紹介し、本の魅力を伝え合わせる。単元の関連本を調べ学習や読書に活用させ、学習への意欲を高める。
	話す・聞く能力	筋道を立てて話す。 話の中心に気を付けて聞く。	主語・述語を意識し、相手に伝わるように声の大きさ、速さに気をつけて、語尾まできちんと話せるように指導する。質問や、感想を伝え合う機会を設定する。
	書く能力	相手や目的に応じ、事柄が伝わるよう段落相互の関係や文章全体の構成に注意して文章を書く。	報告文や紹介文の書き方について、段落を意識して書くように指導する。行事の際には、中心となる事柄を明確にして作文を書けるよう指導する。
	読む能力	登場人物の気持ちの変化や場面の様子、段落相互の関係を考えたりしながら読む。	場面に区切るのではなく、文章全体を通して読み、登場人物の気持ちの変化や段落相互の関係を捉えられるようにする。要点の捉え方など、読み取りのスキルを指導していく。
	言語についての知識・理解・技能	国語の知識や技能を身に付け、言葉のきまりを理解し、文や文章の中で漢字、仮名、ローマ字などを正しく使う。	朝学習で漢字練習を行う。漢字ノートの使い方を指導し、正しく書くことが出来るようにするとともに、文の中に漢字を適切に使うことができるようにする。家庭学習に漢字練習を位置付ける。定期的に漢字テストを行う。
社会	社会的事象への関心・意欲・態度	学区域や東村山市の様子に関心をもち、進んで学習に取り組む。	市内めぐりや見学を通して、気付いたことや疑問を生かし、具体物を資料として活用して、学習の意欲を高める。
	社会的な思考・判断・表現	学区域や東村山市の様子の移り変わりから学習問題を見つけ、考えたことを適切に表現する。	新聞の作り方や、ポスターセッションのやり方について指導し、発表の機会を増やす。
	観察・資料活用の技能	地図を見て地域の地理的環境を読み取ったり、自分の住んでいるところを地図で探したりする。	学習の中で地図や資料を使ったり、読み取ったりする場面を多く設定する。
	社会的事象についての知識・理解	学区域や東村山市の産業や消費生活の様子を理解する。	基礎的な知識をノートや学習シートに書いてまとめ、単元末に学習内容の理解を確認する。
算数	算数への関心・意欲・態度	自分で考え、考え方を予想したり、友達の意見と自分の意見を比べることでより良い解の求め方を主体的に考える力を身につける。	児童が興味を持ちやすい事柄を用いて各単元の導入・展開を工夫することによって児童の関心・意欲・態度を育めるよう改善する。
	数学的な考え方	解の求め方を考えさせ、論理的に考える力を身につける。解を求める要点を確実に理解する。	各単元の問題を解く・考える上での要点となる知識・知恵をノートに書かせる。なぜそうなるのかを考える授業展開になるよう改善する。
	数量や図形についての技能	時刻と時間や円と球、小数、重さ、分数など各単元の問題を素早く解く力を身につける。	定期的にノート提出をさせ内容の理解度やたしかめ問題が解けているかをチェックする。練習問題プリントで知識・技能の定着を図る。
	数量や図形についての知識・理解	計算や図形についての知識・仕組みを理解する。各単元の要点となる知識を理解する。	各単元の問題を解く上で要点となる知識・知恵をポイントとして教え、ノートに書かせる。それを通して、問題を解く上で押さえなければならないポイントを理解させるようにする。

東村山市立東萩山小学校 第3学年

教科等	評価の観点	児童に身に付けさせたい力(児童の実態から)	授業改善のための具体的な方策
理科	自然事象への関心・意欲・態度	身近な自然の様子やしぐみを知るために進んで調べる。	身近な自然の事物・現象に触れる機会を増やす。実験や観察など体験的な活動を多く取り入れるようにする。
	科学的な思考・表現	身近な自然の様子やしぐみについて比べながら考え、わかったことをまとめる。	問題→予想→観察・実験→結果→まとめの学習の流れを大事に授業を行う。自分なりの予想を必ず立てさせる。
	観察・実験の技能	器具を正しく使って実験や観察をし、その過程や結果を分かりやすく記録する。	安全に留意した実験器具の正しい取り扱い方を指導する。観察・実験の結果をまとめやすいよう学習シートを工夫する。
	自然事象についての知識・理解	自然のしくみやきまりについて理解する。	学習したことと生活体験をむすびつけ、実感の伴った理解を図る。
音楽	音楽への関心・意欲・態度	進んで音楽にかかわり、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組もうとする。	交互唱やリレー奏などを通して、音楽の楽しさを感じ取る力を育てる。
	音楽表現の創意・工夫	音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさを感じ取りながら表現を工夫する。	歌詞や曲想に合った歌い方や音色を工夫させる。
	音楽表現の技能	基礎的な表現能力を伸ばす。	リコーダーの演奏技能を身につけるために、個に応じた段階的な指導を行う。
	鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさを感じ取り、楽曲の特徴や演奏のよさに気付く。	音楽のもとを手がかりとして、聴くための視点を明確にする。
図画工作	関心・意欲・態度	表現したり、鑑賞したりすることを楽しむ。	児童の実態に合った題材・用具を提示する。制作中は、具体的に児童の表現のよさを褒め、自信をもって表現できるようにさせる。
	発想や構想の能力	表したいことを想像したり、考えたりする。	導入や制作途中で様々な発想や方法を例示したり、友達の作品を参考にさせたりする。児童の発想が広がりやすいような発問や声掛けを行う。
	創造的な技能	表したいことに合わせて、材料や用具を工夫して使う。	用具・材料の種類や用途を、実演や視覚的資料で分かりやすく説明する。児童が材料や用具の使い方を理解し、自分で使えるようにさせる。
	鑑賞の能力	作品のよさを感じ取ったり、話し合ったりする。	制作途中や完成後、お互いの作品を見合う時間をつくる。発表やワークシートを通して、自分や友達のよさに気づき、深め合わせる。
体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	運動に楽しく取り組もうとする。きまりを守り互いに協力しようとする。健康・安全に気を付ける。	体力テストの結果・考察を参考に実態に応じた場や課題を設定する。取り組む競技とオリンピックとを関連付けて、より力を高めていくように意識させる。
	運動や健康・安全についての思考・判断	自分の能力に適した課題をもち、運動の仕方を工夫する。	単元の始めにめあてを明確にさせる。練習の仕方や作戦などを例示する。学習カードを活用する。
	運動の技能	運動を楽しく行うための基本的な動きや技能を身に付ける。	なわとびカードやマラソンカード等を活用し、技能・体力の向上に取り組む。授業では運動量を確保し、様々な動きの運動を計画的に取り入れていく。
	健康・安全についての知識・理解	課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解する。	一人一人が身近な課題としてとらえることができるよう、生活と結びつけた指導を行う。

平成30年度授業改善推進プラン

東村山市立東萩山小学校 第4学年

教科等	評価の観点	児童に身に付けさせたい力(児童の実態から)	授業改善のための具体的な方策
国語	関心・意欲・態度	国語に関する関心を持ち、国語の基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を追究しようとする。 幅広く読書しようとする。	朝読書や図書室での読書の時間を確保し、読書指導を充実させる。友達間でお勧めの本を紹介し合い、本の魅力を伝え合わせる。単元の関連本を調べ学習や読書に活用させ、学習への意欲を高める。
	話す・聞く能力	筋道を立てて話す。 話の中心に気を付けて聞く。	主語・述語を意識し、語尾まできちんと話せるように指導する。相手に伝わる声の大きさ・速さに気をつけて発言するようにさせる。質問をしたり、感想を言ったりすることを奨励する。
	書く能力	相手や目的を意識して、書く内容を明確にし、段落相互の関係などに注意して文章を書く。	段落を意識して、報告文や日記を書くように指導する。行事の際には、振り返り作文を書かせ、書くことに親しませる。
	読む能力	内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む。 事実と筆者の考えを区別して読む。	場面に区切るだけでなく、文章全体を通して読み、登場人物の気持ちの変化や性格、情景を読み取らせる。目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約させる。情景描写などの表現のよさに気付かせる。
	言語についての知識・理解・技能	国語の知識や技能を身に付け、言葉のきまりを理解し、文や文章の中で漢字、仮名、ローマ字などを正しく使う。	新出漢字を着実に覚えられるよう指導する。習った字を文の中に使うことが習慣化するよう、繰り返し意識付けていく。定期的に漢字テストを行い、定着が不十分な場合には再テストも行う。
社会	社会的事象への関心・意欲・態度	安全で快適な生活を支える仕組みと東京都の様子に関心を持ち、すすんで学習に取り組む。	見学や体験学習を通して、気付いたことや疑問を生かし、具体物やICT機器を活用して、学習の意欲を高める。
	社会的な思考・判断・表現	生活経験や資料から学習問題を見つけ、調べたことから実生活に生かせる考えをもつ。	新聞の作り方やプレゼンテーションのやり方について指導し、発表の機会を多くする。
	観察・資料活用の技能	地図から地理的環境を読み取ったり、グラフや写真等の資料から注目すべき点を見つけたりする。	学習の中で地図や資料を使ったり、読み取ったりする場面を多く設定する。
	社会的事象についての知識・理解	安全で快適な生活を支える仕組みと東京都の様子を理解する。 都道府県名と地図上の位置が分かる。	学習して分かったことをノートに整理させ、ミニテストやワークシートなどで理解を確認する。
算数	算数への関心・意欲・態度	自分で考え、考え方を予想したり、友達の意見と自分の意見を比べることでより良い解の求め方を主体的に考える力を身につける。	児童が興味を持ちやすい事柄を用いて各単元の導入・展開を工夫することによって児童の関心・意欲・態度を育めるよう改善する。
	数学的な考え方	解の求め方を考えさせ、論理的に考える力を身につける。解を求める要点を確実に理解する。	各単元の問題を解く・考える上での要点となる知識・知恵をノートに書かせる。なぜそうなるのかを考える授業展開になるよう改善する。
	数量や図形についての技能	大きな数やがい数、図形、分数、面積、角、立体など各単元の問題を素早く解く力を身につける。	定期的にノート提出をさせ内容の理解度やたしかめ問題が解けているかをチェックする。練習問題プリントで知識・技能の定着を図る。
	数量や図形についての知識・理解	計算や図形についての知識・仕組みを理解する。各単元の要点となる知識を理解する。	各単元の問題を解く上で要点となる知識・知恵をポイントとして教え、ノートの余白に書かせる。それを通してその問題を解く上で確実に押さえておかなければならないポイントを理解させるようにする。

平成30年度授業改善推進プラン

東村山市立東萩山小学校 第4学年

教科等	評価の観点	児童に身に付けさせたい力(児童の実態から)	授業改善のための具体的な方策
理科	自然事象への関心・意欲・態度	身近な自然の様子やしぐみを知るために進んで調べる。	身近な自然の事物・現象に触れる機会を増やす。実験や観察など体験的な活動を多く取り入れるようにする。
	科学的な思考・表現	身近な自然の様子やしぐみについて変化とその要因を関係付けながら考え、分かったことをまとめる。	自分なりの予想を立てさせ、その根拠も明確にする。
	観察・実験の技能	器具を正しく使って実験や観察をし、その過程や結果を分かりやすく記録する。	安全に留意した実験器具の正しい取り扱い方を指導する。観察・実験の結果を板書の工夫を通して、視覚的にわかりやすく記録させる。
	自然事象についての知識・理解	自然のしくみやきまりについて理解する。	学習したことと生活体験をむすびつけ、実感の伴った理解を図る。
音楽	音楽への関心・意欲・態度	進んで音楽にかかわり、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組もうとする。	部分合唱やリレー奏などを通して、音楽の楽しさを感じ取る力を育てる。
	音楽表現の創意・工夫	音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさを感じ取りながら表現を工夫する。	歌詞や曲想に合った歌い方や音色を工夫させる。
	音楽表現の技能	基礎的な表現能力を伸ばす。	リコーダーの演奏技能を身につけるために、個に応じた段階的な指導を行う。
	鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさを感じ取り、楽曲の特徴や演奏のよさに気付く。	音楽のもとを手がかりとして、聴くための視点を明確にする。
図画工作	造形への関心・意欲・態度	表現したり、鑑賞したりすることを楽しむ。	児童の実態に合った題材・用具を提示する。制作中は、具体的に児童の表現のよさを褒め、自信をもって表現できるようにさせる。
	発想や構想の能力	表したいことを想像したり、考えたりする。	導入や制作途中で、様々な発想や方法を例示したり、友達の作品を参考にさせたりする。児童の発想が広がりやすいような発問や声掛けを行う。
	創造的な技能	表したいことに合わせて、材料や用具を工夫して使う。	用具・材料の基本的な使い方・種類・用途を視覚的資料や実演で分かりやすく説明する。児童が材料や用具の使い方を理解し、自分で応用して使えるようにさせる。
	鑑賞の能力	作品のよさを感じ取ったり、話し合ったりする。	制作途中や完成後、展示の際において、お互いの作品を見合う時間をつくる。自分や友達のよさに気づき、言語化して認め合えるようにさせる。
体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	運動に進んで取り組み、きまりを守り、互いに協力したり、励まし合ったりしながら、健康・安全に気を付ける。	体力テストの結果・考察を参考に実態に応じた場や課題を設定する。取り組む運動とオリンピック競技とを関連させ、運動への意欲を高める。よい態度を称賛し、より良いものを目指すようにする。
	運動や健康・安全についての思考・判断	自己の能力に適した課題をもち、運動の仕方を工夫することができる。	学習カードを活用して、チームで相談する時間を確保するなどして、めあてを意識させる。チームで相談したり、振り返ったりする時間を確保する。
	運動の技能	運動を楽しく行うための基本的な動きや技能を身に付ける。	技能のポイントを分かりやすく提示する。友達同士で教え合わせ、技能を身に付けさせる。
	健康・安全についての知識・理解	体の発育・発達について理解する。健康で安全な生活をするための理解を深める。	掲示できる資料を用意し、視覚的に理解できるようにする。養護教諭と連携して指導を行う。

平成30年度授業改善推進プラン

東村山市立東萩山小学校 第5学年

教科等	評価の観点	児童に身に付けさせたい力(児童の実態から)	授業改善のための具体的な方策
国語	関心・意欲・態度	言語や文章に進んで親しもうとする。	継続的に朝読書に取り組む。 図書館司書と連携し、学習単元に沿った並行読書を励行する。
	話す・聞く能力	伝えたい内容や聞きたい内容をはっきりさせて話したり聞いたりする。 相手意識を持って話したり、聞いたりする。	「はじめ・中・終わり」の話型を継続的に活用することで、分かりやすい話し方について理解を深めさせる。
	書く能力	目的や意図に応じて、文章全体の構成や表現の仕方について意識して書く。	各授業の学習感想など、文章を書く活動を継続的に取り入れる。文章の要点や「はじめ・中・終わり」などの構成を意識し分かりやすい文章作りに心がけさせる。
	読む能力	登場人物の気持ちや場面の様子、要旨、筆者の主張や考えを、根拠を見つけながら読み取る。	全体の構成を理解させるような単元を計画したり、叙述に即した考えを発表できるように授業の計画をたてる。
	言語についての知識・理解・技能	語彙を増やす。 言葉のきまりを理解し、漢字や文字を正しく使う。	教材文の言葉や表現の意味調べの時間を確保し、継続的に取り組ませる。学習した熟語を用いた短文作り等単元計画に計画する。
社会	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的事象に関心をもち、進んで学習に取り組むことができる。	視聴覚教材を効果的に活用したり、学習内容と日常生活のつながりを意識しやすい資料提示をしたりする。
	社会的な思考・判断・表現	授業で学んだことを身の回りの地域社会と結びつけて考える。	資料の見方についての観点を提示する。資料や事象を身の回りの事象と結びつけながら提示する。児童が考えようとする学習課題を計画する。
	観察・資料活用の技能	目的に応じて、資料や統計を読み取り、活用したり表現したりする。	観察・調査等、多様な活動を取り入れ、学習したことを地図やグラフ、写真等の資料も積極的に活用して表現する活動を積極的に取り入れ、単元計画として設定する。
	社会的事象についての知識・理解	日本の国土や産業などについて興味をもち、産業のしくみや内容について知識をもち理解を深める。	施設見学・体験学習等を通して学習したことと自分の日常生活や地域社会を関連させて考えられるようにする。ワークシートを活用し、知識を定着させる。
算数	算数への関心・意欲・態度	計算の仕方や解の求め方を主体的に求めるようにする。	児童が興味を持ちやすい事柄を用いて各単元の導入・展開を工夫することによって児童の関心・意欲・態度を育めるよう改善する。
	数学的な考え方	解の求め方を考えさせ、論理的に考える力を身につける。解を求める要点を確実に理解する。	各単元の問題を解く・考える上での要点となる知識・知恵をノートに書かせる。なぜそうなるのかを考える授業展開になるよう改善する。
	数量や図形についての技能	小数の掛け算や合同な図形、分数、体積、割合など各単元の問題を素早く解く力を身につける。	定期的にノート提出をさせ内容の理解度やたしかめ問題が解けているかをチェックする。練習問題プリントで知識・技能の定着を図る。
	数量や図形についての知識・理解	計算や図形についての知識・仕組みを理解する。各単元の要点となる知識を理解する。	各単元の問題を解く上で要点となる知識・知恵をポイントとして教え、ノートの余白に書かせる。それを通して確実に押さえなければならないポイントを理解させるようにする。

平成30年度授業改善推進プラン

東村山市立東萩山小学校 第5学年

教科等	評価の観点	児童に身に付けさせたい力(児童の実態から)	授業改善のための具体的な方策
理科	自然事象への関心・意欲・態度	自然のしくみやきまりに関心をもち、進んで調べる。	導入で様々な事象提示を工夫することで、問題に対する興味をもたせる。
	科学的な思考・表現	自然のしくみやきまりについて、条件に着目しながら考え、分かったことをまとめる。	観察・実験に必ず予想や仮説を伴うようにし、実験結果だけでなく、経過観察から考察しやすいようにする。
	観察・実験の技能	器具を正しく使って実験や観察をし、その過程や結果を的確に記録する。	安全に留意した実験器具の正しい取り扱い方を指導する。図やグラフなど、実験に合った記録用紙を用いるようにする。
	自然事象についての知識・理解	自然事象には、規則性があることを理解する。	実験や観察によって見付けた規則性と身近な生活に見られる事象との関連性に気付くことができるようにする。
音楽	音楽への関心・意欲・態度	創造的に音楽にかかわり音楽表現や鑑賞の学習に楽しく取り組もうとする。	グループアンサンブルを通して、音を合わせるよさを感じ取らせる。
	音楽表現の創意・工夫	音楽を形づくっている要素を聞き取り、その面白さを感じ取りながら表現を工夫する。	歌詞の内容や曲想に合った歌い方や音色を工夫させる。
	音楽表現の技能	基礎的な表現能力を身につける。	旋律・伴奏・リズムそれぞれの役割を感じ取り、学級全体で合唱や合奏を楽しませる。
	鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を聞き取り、その面白さを感じ取って楽しむ。	音楽のもとを手がかりとして、聴くための視点を明確にする。
図画工作	造形への関心・意欲・態度	表現したり鑑賞したりすることを楽しみ、その喜びを味わう。	児童の実態に合った題材・用具を提示する。児童が意欲的に制作に取り組むことができるよう、参考作品の提示・導入・発問を工夫する。
	発想や構想の能力	表したいことを思いついたり、表し方を考えたりする。	導入や制作途中で様々な発想や方法を例示したり、資料やワークシートを活用したりして、発想が広がりやすいように段階を踏んで手立てを行う。
	創造的な技能	表したいことに合わせて、材料や用具を工夫して使う。	材料や用具・技法を、年間を通して体験できるようにする。児童が基本的な用具や材料の使い方を身に付け、表現に合わせて用具・材料を工夫して使えるようにする。
	鑑賞の能力	作品などの美しさやよさ・意図を感じ取ったり、話し合ったりして見方を広げ深める。	制作途中に作品を見合う時間をつくったり、校内に展示をしたりする。お互いの表現のよさや面白さに触れ、言語化して伝え合う時間をつくる。
家庭	家庭生活への関心・意欲・態度	授業で学んだ知識や技能を生活の中で生かし、家庭生活をよりよくしていこうとする。	製作や調理実習など体験的な活動を多く取り入れ、学習と普段の生活を関連づけさせる。
	生活を創意工夫する能力	これまでの家庭生活をふりかえり、自分なりに工夫して計画をたてたり、よりよい方法を考えたりしようとする。	学習したことを家庭生活での手伝いなどを通して実践させ、学習内容と実生活とが生活の中で関連していることを実感させる。
	生活の技能	衣食住や家族の生活について基礎的な技能を身に付ける。	製作や調理実習など、体験的な活動を多く取り入れ、生活で活用できるような技能を身に付けさせていく。

平成30年度授業改善推進プラン

東村山市立東萩山小学校 第 5 学年

教科等	評価の観点	児童に身に付けさせたい力(児童の実態から)	授業改善のための具体的な方策
	家庭生活についての知識・理解	衣食住や家族の生活について基礎的な知識を身に付ける。	ワークシートなどを活用し、学習内容を自分の言葉でまとめさせる。視覚的な教材を使用し理解を図る。
体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう自分のめあてに合った練習方法を探したり、技能面のポイントをみつけたりする。	児童の力に応じて練習場面に多様性をもたせる。学習内容とオリンピックパラリンピックとの関連を説明し、運動技能に対する興味関心を高める。
	運動や健康・安全についての思考・判断	自己の能力に適した課題の解決の仕方や運動の取り組み方を工夫する力を身に付ける。	単元計画を工夫し、児童の力に応じて練習方法を用意したり、児童が工夫したりできるようにする。作戦や工夫などを立ったり見直したりしやすい学習カードをつくる。
	運動の技能	運動の特性に応じた技能や体力を身に付ける。	技能の向上に対する意欲をもてるような課題設定や学習カードを工夫して作る。振り返り内容を授業で共有でし、技能の向上を図る。
	健康・安全についての知識・理解	病気予防やケガの防止について、正しい知識を得て、健康で安全な生活をするための理解を深める。	養護教諭と連携し、より専門的な学習を展開できるようにする。視覚教材を活用したり、生活の振り返りを中心としたワークシートの作成等、授業の工夫をする。

平成30年度授業改善推進プラン

東村山市立東萩山小学校 第 6 学年

教科等	評価の観点	児童に身に付けさせたい力(児童の実態から)	授業改善のための具体的な方策
国語	関心・意欲・態度	言葉や文章に進んで親しもうとする。	司書教諭との連携を図り朝読書を通していろいろな本に親しませる。新出漢字の学習において、漢字を使った短文作りや毎日の作文など、文章を書く機会を充実させる。
	話す・聞く能力	自分の伝えたいことを、聞く人に論理的にわかりやすく伝える。要点を押さえて話を聞く。	朝、帰りの会をはじめスピーチの機会を継続的に設け実施する。音声言語による言語活動を授業内に積極的に取り入れる。
	書く能力	文章を、構成のまとまりや表現上の効果などを意識して文章を書く。	日記や作文、詩など、自分の考えや感想を文章に表現する機会のより充実を図る。
	読む能力	文章の内容を正確に読み取って、感想や考えをもつ。	継続的に音読練習をさせる。司書教諭と連携し、学習材となる文章に関連した並行読書を励行する。
	言語についての知識・理解・技能	6年間で学習した漢字や言葉を、日常生活の中で活用できる。	漢字の小テストを毎日実施し、補習などを通して深い定着を図る。確実な練習ができるように補習プリントを用意し実施する。
社会	社会的事象への関心・意欲・態度	我が国の歴史、政治・経済、世界の国々とのつながりについて、意欲的に調べようとする。	教科書や資料集、画像・動画などの視覚教材・資料についてICTを効果的に活用する。学習問題づくりを、児童の学習意欲をより促すように工夫する。
	社会的な思考・判断・表現	6年間で学習した社会的事象を総合的に捉え、自分の考えを深める。	調べたことをもとに、まとめや自分の考えを、新聞やノートの記述欄を中心に、文章形式でまとめられる機会を充実させる。
	観察・資料活用の技能	資料を活用しながら、事実を正しくつかむ。	読み取る観点を明確にした上で、資料の情報量を適切に精選し、効果的に提示する。
	社会的事象についての知識・理解	我が国の歴史、政治・経済、世界の国々とのつながりについて、幅広く理解する。	人物カードや習熟プリントなど副教材の活用を通して、知識の確実な定着を図る。
算数	算数への関心・意欲・態度	自分で考え、考え方を予想したり、友達の見解と自分の意見を比べることでより良い解の求め方を主体的に考える力を身につける。	児童が興味を持ちやすい事柄を用いて各単元の導入・展開を工夫することによって児童の関心・意欲・態度を育てるよう改善する。
	数学的な考え方	解の求め方を考えさせ、論理的に考える力を身につける。解を求める要点を確実に理解する。	各単元の問題を解く・考える上での要点となる知識・知恵をノートに書かせる。なぜそうなるのかを考える授業展開になるよう改善する。
	数量や図形についての技能	文字を使用した式や図形、分数、体積、比など各単元の問題を素早く解く力を身につける。	定期的にノート提出をさせ内容の理解度やたしかめ問題が解けているかをチェックする。練習問題プリントで知識・技能の定着を図る。
	数量や図形についての知識・理解	計算や図形についての知識・仕組みを理解する。各単元の要点となる知識を理解する。	各単元の問題を解く上で要点となる知識・知恵をポイントとして教え、ノートの余白に書かせる。それを通してその問題を解く上で確実に押さえなければならぬポイントを理解させるようにする。
	自然事象への関心・意欲・態度	自然のしくみやきまりに関心を持ち、進んで調べる。	導入で様々な事象提示を工夫することで、問題に対する興味をもたせる。

平成30年度授業改善推進プラン

東村山市立東萩山小学校 第 6 学年

教科等	評価の観点	児童に身に付けさせたい力(児童の実態から)	授業改善のための具体的な方策
理科	科学的な思考・表現	自然のしくみやきまりについて推論しながら、規則性や相互関係を見つけ、まとめる。	観察・実験に必ず予想や仮説を伴うようにし、その根拠も明確にさせる。また、実験結果だけでなく、経過観察からも考察させる。
	観察・実験の技能	器具を正しく使って実験や観察をし、その過程や結果を的確に記録する。	安全に留意した実験器具の正しい取り扱い方を指導する。実験で気付いたことを自分で付け足して記録できるようにする。
	自然事象についての知識・理解	自然事象には、規則性があることを理解する。	実験や観察によって見付けた規則性と身近な生活に見られる事象との関連性に気付くことができるようにする。
音楽	音楽への関心・意欲・態度	創造的に音楽にかかわり音楽表現や鑑賞の学習に楽しく取り組もうとする。	題材とする歌や音楽の背景などを説明したり気付かせたりし、意欲を高めて取り組めるようにする。
	音楽表現の創意・工夫	音楽を形づくっている要素を聞き取り、その面白さを感じ取りながら表現を工夫する。	歌詞の内容や曲想について気付かせ、題材に合った歌い方や音色を工夫させる。
	音楽表現の技能	基礎的な表現能力を身につける。	旋律・伴奏・リズムなど、全体の中でのそれぞれの役割を感じ取って学級全体で合唱や合奏を楽しませる。
	鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を聞き取り、その面白さを感じ取って楽しむ。	題材ができあがる背景や歴史を知ること、鑑賞のポイントを明確におさえられるようにする。
図画工作	造形への関心・意欲・態度	表現したり、鑑賞したりすることを楽しみ、その喜びを味わう。	児童の実態に合わせて題材・用具を提示する。児童が意欲的に制作に取り組むことができるよう、視覚教材等を導入として有効活用する。
	発想や構想の能力	表したいことを思いついたり、表し方を考えたりする。	導入や制作途中で様々な発想や方法を例示したり、資料やワークシートを活用したりする。発想の広がりをもたせるために、提示する段階を工夫する。
	創造的な技能	表したいことに合わせて、材料や用具を工夫して使う。	材料や用具・技法を、年間を通して計画的かつ網羅的に体験できるようにする。児童が用具や材料の使い方を身に付け、表現に合わせて用具・材料を工夫して使えるようにする。
	鑑賞の能力	作品などの美しさやよさ・意図を感じ取ったり、話し合ったりして見方を広げ深める。	制作途中や制作後、展示の際に児童が作品を見合う時間をつくる。お互いの作品について表現のよさや面白さ、感じ方の違いについて気付いたことを学習カードにまとめ、自分の発想の幅を広げさせる。
家庭	家庭生活への関心・意欲・態度	授業で学んだ知識や技能を生活の中で生かし、家庭生活をよりよくしていこうとする。	実際的な生活経験に沿った学習や実習内容を工夫し、家庭生活をよりよくしていくよさを感じる。
	生活を創意工夫する能力	主体的に生活を営む能力や家庭生活に問題意識を持ち、いろいろ考えて自分なりによい方法を考えようと努力する。	製作や調理について、実際の生活と照らし合わせながら、創意工夫できることなどを考え、言葉でまとめ発表し合う機会を充実させる。
	生活の技能	衣食住や家族の生活などに必要な基礎的・基本的な技能を身につける。	製作や調理実習など、実践的・体験的な活動を多く取り入れ、普段の生活で活用できるような技能を身に付けていかせる。
	家庭生活についての知識・理解	家庭生活を構成していく要素(人・もの・時間・金銭)が関わり、その成り立ちや意味について理解する。	単元の学習ごとに学習内容を学びをまとめ、振り返りやすいように学習カードを工夫する。

平成30年度授業改善推進プラン

東村山市立東萩山小学校 第 6 学年

教科等	評価の観点	児童に身に付けさせたい力(児童の実態から)	授業改善のための具体的な方策
体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	進んで運動したり、継続的に体力づくりに取り組んだりする態度を育てる。オリンピック、パラリンピックや競技種目についての興味や関心をもち、知識をもつ。	学習種目を日常の運動や遊びに生かせるように工夫して指導する。運動種目とオリンピック・パラリンピックの競技種目との関連を説明し、運動に対する意欲を高められるようにする。
	運動や健康・安全についての思考・判断	自分に適しためあてをもって運動に取り組んだり、友達と協力して練習や試合に取り組んだりする。	学習カードの活用・工夫などを通して、児童が自分の成長や変化の課程を実感できるようにし、めあてに対する方法や工夫を考えやすいようにする。
	運動の技能	運動の特性に応じた技能や体力を身に付ける。	運動種目に応じて学習カードを活用し、学習や練習の成果がより実感できたり、課題を見付けやすくなりしたりする。
	健康・安全についての知識・理解	病気の予防について、正しい知識を得て、健康に気をつけようとする。	養護教諭と連携し、より専門的な学習を展開できるようにする。資料や動画などの活用、ワークシートの工夫し、学習を振り返りやすくする。

平成30年度授業改善推進プラン

東村山市立東萩山小学校

青葉学級

教科等	評価の観点	児童に身に付けさせたい力(児童の実態から)	授業改善のための具体的な方策
国語	関心・意欲・態度	様々な分野の図書を選択し、進んで読書に親しむ。 進んで話したり聞いたり書いたりしようとする。	毎週木曜日の朝読書の時間や、教師・保護者の読み聞かせを活用して、本に親しめるようにする。意見を発表したり、聞いたりする時間を多く設定していく。
	話す・聞く能力	自分の考えや意見をもち、自分なりの方法で表現する。 聞き方の基本的なルールを身に付ける。	児童の実態に応じて個々に目標を立て、話したり聞いたりする力の向上を図っていく。また、グループ学習において身に付けた力を学級全体等様々な場面でも発揮できるように計画的に指導を進める。
	書く能力	身近な事柄を文字や文章で表す。	文字による表記、表現する力がつくように、児童の発達段階に応じた教材を用意して書く機会を多く設定する。
	読む能力	簡単な物語の読み取りができる。	児童の興味、関心、課題に合った教材を準備して指導を進める。
	言語についての知識・理解・技能	(個々の実態に応じて) 平仮名、片仮名、漢字を正しく書く。	個別指導計画に基づいて指導を進めていく。グループ学習の他にも、朝学習で継続して取り組ませることで定着を図る。
算数	算数への関心・意欲・態度	日常生活において算数的な考えを必要とする場面で、算数科で学習した力を生かそうとする。	金銭や時計、量の感覚など生活に密接した内容を重点的に取り上げる。興味をもてるように身近な具体物や絵を活用する。
	数学的な考え方	言葉や図、式等を使って自分の考えを表したり、問題を解いたりすることができる。	個々の発達段階に応じて支援ツールを用意し、活用する。児童同士で考えを共有する場を設ける。
	数量や図形についての技能	(個々の実態に応じて) 計算力や数概念を向上する。	個別指導計画に基づいて指導を進めていく。グループ学習、朝学習、家庭学習で繰り返し練習させ定着を図る。実態に応じて算数基礎ドリルやベーシックドリルを活用する。
	数量や図形についての知識・理解	日常生活に必要な時間・時刻、カレンダー、金銭、量の感覚・測定等について理解する。	教室環境を工夫し、数量認知に役立つ物を配置、掲示していく。
音楽	関心・意欲・態度	楽しく音楽にかかわり、音や音楽に対する興味・関心をもち、音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	季節に合う歌や昔からある歌、身近な内容の歌などを多く取り入れる。 遊びの要素を取り入れ、歌や演奏の楽しさを感じさせる。
	音楽表現の創意・工夫	音色、リズム、旋律、速さ、強弱などを感じながら、音楽表現を工夫する。	手遊びやリズム遊びなど身体を使った表現活動を多く取り入れる。児童の自然な表現を受け止め、適宜指導して良さを伸ばし、表現の幅が広がっていくようにする。

平成30年度授業改善推進プラン

東村山市立東萩山小学校

青葉学級

教科等	評価の観点	児童に身に付けさせたい力(児童の実態から)	授業改善のための具体的な方策
	音楽表現の技能	音楽表現をするための基礎的な技能を身に付け、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりする。	歌詞に注目させたり曲の気分を感じ取ったりさせながら、歌声や音色を意識できるようにする。実態や学年を考慮して、打楽器、鍵盤ハーモニカ、リコーダー等に取り組みせる。
	鑑賞の能力	楽曲や演奏の楽しさに気付き、味わって聴く。	児童が親しみやすい楽曲を鑑賞教材にする。感じ取ったことを、体や言葉で自由に表現させる。
図画工作	関心・意欲・態度	表したいことや作りたいものを自分なりの方法で表現しようとする。	手順を明確に示して活動の見通しをもたせながら、実態に応じて工夫の方法を伝えたり完成例を提示したりする。
	発想や構想の能力	感じたことや思いついたことを、のびのびと表現する。	楽しくのびのびと表現できるような題材の工夫をする。考えたことを作品に表すことが難しい児童には、適宜支援する。
	創造的な技能	材料、道具、用具等の正しい使い方を覚え、工夫して作品に表す。	材料、道具、用具等の使い方を実演しながら指導し、子供が表わしたいことを自由に表現できるように工夫する。
	鑑賞の能力	友達の作品に関心をもつ。	お互いの作品を見合い、感想等を発表する機会を設定することで、友達の作品を意識できるようにする。
体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	集団走やなわとび運動、リトミックなどを継続的に行い、体力や調整力を向上させる。オリンピック・パラリンピックに対する理解を通して、他の人と仲良く助け合い、進んで運動しようとする。	友達と一緒に運動する楽しさを味わったり、互いの活動を参考に高め合ったりできるように効果的なグループ編成で運動させる。オリンピック・パラリンピック種目に関係する運動を紹介し、関心をもたせる。
	運動や健康・安全についての思考・判断	簡単なきまりを理解し、友達と一緒に楽しく運動する。	発達段階に適したゲーム、ルール等を工夫し、児童が相互にかかわって活動できるようにしていく。
	運動の技能	基本的な体力・運動能力を身に付ける。	毎日運動の時間を設定して運動量を多くし、主体的に体を動かすことに慣れさせていく。体力テストの結果を参考にし、身に付けさせたい運動能力を明確にして指導を進める。
	健康・安全についての知識・理解	手洗い、汗ふき、うがい、換気など声かけがなくても習慣化する。	毎月養護教諭による保健指導を実施し、意識の向上を図る。日常生活の指導の中でも確認していき、進んで取り組んでいる姿を称賛していく。

平成30年度授業改善推進プラン

東村山市立東萩山小学校

青葉学級

教科等	評価の観点	児童に身に付けさせたい力(児童の実態から)	授業改善のための具体的な方策
日常生活	身辺自立	毎日の衣服の着脱、身支度等を通して、身辺処理の活動がよりスムーズになるようにし、自立を図っていく。	生活の自立に向けた個別の目標を設定し、一人一人に適した環境設定、支援の方法を考慮する。
	情緒の安定	学校生活に見通しをもち、落ち着いて活動に取り組む。	視覚支援教材や掲示物を有効に活用し、少しの声かけで活動できるようにする。毎日の朝の会で、1日の予定を明確に伝えて見通しをもたせる。
	対人関係	友達や教師と豊かにかかわったり、相手のことを考えて行動したりする。	班での活動や集団での行動を多く設け、必要に応じて教師が仲介しながら、より良いかかわり方を伝えていく。
	社会性	係活動や当番活動を通して、自分の役割を理解し、最後まで責任をもってやり通すことができる。	定期的に各自の係活動を振り返る時間を設定して、自覚を高め、自発性を促していく。
	コミュニケーション	自分なりの方法で意思の伝達ができる。	教師がモデルを示し、状況や場面に応じた言動が身に付くようにする。